



*祈りの栞 (9月)

海老名教会に繋がっている方々へ
共にお祈りを合わせましょう！

・み言葉：Ⅱコリントの信徒への手紙 5章 19節 讃美歌：21 - 493

「つまり、神はキリストによって世を御自分と和解させ、人々の罪の責任を問うことなく、和解の言葉をわたしたちにゆだねられたのです。」

神様は私たちの罪を問うことなく、主イエス・キリストを通して神様との和解をさせたと、使徒パウロは言っています。まさに恵みです。神様と和解をするところにこそ、真の希望があり、救いがあるのです。

コロナ禍で、先が見えないこの試練の中、神様との正しい関係を回復することにしか生きる道はありません。その和解の言葉が私たちにゆだねられています。和解の言葉を伝える福音伝道が私たちの使命です。この試練に打ち勝つように導いてくださる神様の愛と力を伝えていきましょう。そして、多くの方が、慈しみ深い神様との和解を成すことができますよう祈りましょう。

<祈りの課題>

1. 教会の礼拝、特に聖餐礼拝に主の臨在の恵みが豊かに注がれますように。
2. 教会員の家庭の上に、神様の祝福と恵みが豊かにありますように。
3. 教会学校の礼拝と分級の学びを通して子どもたちの信仰が成長できますように。
4. 教会の奉仕を担う人々の上に主の御支えと祝福がありますように。
5. 体の弱さを覚えている人や、不安と孤独の中にいる人々を主が憐れんでくださいますように。
6. 海老名教会が、この試練の中で真の希望を見出し、具体的な伝道活動ができますよう主の御導きを祈りましょう。
7. 日本基督教団、教区の教会が、多様性の中でも、心を一つにして信仰を告白していくことができますように。
8. 神奈川連合長老会の諸教会の交わりが主によって強められ、伝道の業を果していくことができますように。
9. 日本と世界の国の指導者たちに良い知恵が与えられ、コロナの危機を乗り越えていくことができますように。弱い者のための政策を見出すことができますように。
10. コロナ・ウィルスの試練の中、治療のために奮闘している医療従事者や関係者たちのために祈りましょう。コロナの試練の中で家族を失い、仕事を失っている人々のために祈りましょう。

